

まちかどトーク（古府地区）議事要旨

日時：令和8年2月21日（土）15:00～16:40

場所：古府地域交流センター

参加者：60人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「地区の現状と今後のあり方のひとつの提案」について地域課から説明の後、質疑応答

参加者

小学校統合に伴う通学手段について、スクールバスの導入を要望しているが現状は。

市長

既存の路線バスを活用する方向で話が進んでいると聞いている。

参加者

こどもの通学時の安全確保の観点からもスクールバスを導入してほしい。

市長

教育委員会と話し合い、何らかの形でお答えしたい。

参加者

万葉歴史館駐車場のトイレは和式で使いづらく、汚れやすいので衛生面にも問題がある。公共施設のトイレの洋式化を進めてほしい。

市長

市民の利便性はもとより、観光客などからみた市のイメージに関わることを考えている。複数年かけて公共トイレの洋式化を計画しており、高岡古城公園のトイレは来年度から少しずつ改修する予定である。

参加者

伏木中学校の弓道場の解体が始まっているが、歴史ある施設なので残してほしいという声が多い。

参加者

予算を確保し、弓道場を移転・存続させてほしい。

市長

何らかの形で、近くで弓道ができるよう検討していると聞いている。

参加者

少子化が進み、現役世代の負担が増えることが不安である。これからも市民との対話を重ねて、住みたくなる高岡を目指してほしい。

地域課

行政だけでできることは限られており、例えば、地域のにぎわいづくりなど、皆様には地域を変えていく力を持っていることを知ってほしい。多機能地域自治を導入した地域で実施した住民アンケートでは、地域活動に参加していないが関心を持っている住民が

どの年代にもかなりの割合でいる。この関心を持っている住民にいかに参画してもらうか工夫することが重要である。

参加者

行政は地域に委員推薦など様々な依頼をしており、これが地域の負担になっているという声を聞く。これについて、市はどのような動きをしているのか。

地域課

地域への依頼事項には、法令や条例で定められているものもあり、市の判断のみで変更できないものも少なくない。まずは依頼事項の総量や法令等に基づくかなど調査し、把握に努めたい。

参加者

伏木小学校及び古府小学校の相撲場については、市と地域が連携し維持管理する方向で存続を考えてほしい。

高岡市民病院などの総合病院と町医者との連携をどのように進めていくのか。

運転免許証を自主返納した高齢者にタクシー券が支給されるが、利用は本人限定で家族に共有できないため、見直してほしい。

市長

施設を存続させることは、維持管理の負担が課題である。市民の想いを伺いながら、判断していきたい。

救急医療や高度ながん治療への特化、高齢者の救急の受入れやリハビリを担うといったように医療の機能分化を進めていくため、地域の医療機関と話し合いを重ねていきたい。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

令和6年能登半島地震後、解体された空き家が多く、空き地が目立っている。住民は地域外に移り住み戻ってこない。仮設住宅が建設されていたら、流出を防ぐことができたのではと考える。

市長

建設の要件である「全壊」判定の家屋が一件もなかったため建設できなかった。その分、行政が独自に支援策を講じる必要がある。

参加者

「高岡市若者地域活動支援補助金」について、多くの住民が楽しめるイベントに対して補助金を柔軟に活用できるよう、見直してほしい。

地域課

補助金の性質上、使用用途に要件はあるが、ご意見は今後の参考にさせていただきたい。

参加者

若い女性の防災士が少ないと感じる。資格取得に係る費用の補助を含め、女性防災士を多く養成できるような環境作りをお願いしたい。

参加者

出産や移住への支援金など、若い世代を呼び込むための取組を考えているのか。

市長

県外から転入する若い夫婦への家賃補助を予定しているが、若い世代の流入を増やすことは簡単ではない。子育てや教育、働く場所の充実など、市民一人ひとりの暮らしが良くなることを積み重ねることで、住みたいまちにつながると考える。